

2025年度第 2 四半期 決算説明資料

2025年10月28日

I	2025年度第2四半期 決算概要	<スライド番号>
	決算概要	 1
	セグメント別決算概要	 4
	発電電力量	 8
	(参考) 期ずれ影響のイメージ (実績)	 9
	2025年度 業績見通しの概要	10
	(参考) 米国の関税政策による影響	12
	配当の状況	13
II	参考データ：決算・財務関連	<スライド番号>
	連結収支比較表	14
	連結財政状態の概要	15
	2025年度 セグメント別業績見通し	16
	財務関連指標	17

I 2025年度第2四半期 決算概要

(注) 「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を、「2Q」表記は4月から9月までの期間を指します。
表示単位未満の数値について、金額は切り捨て、販売電力量や発電電力量などの諸元は四捨五入で記載しております。

決算概要①

〈決算概要〉（連結）

- 売上高：1兆7,478億円
2024年度第2四半期にトーエネックが子会社から関連会社になったことによる影響（△340億円）などから、前年同期に比べ186億円の減収
- 経常損益：1,962億円
洋上風力発電事業撤退損失および、ミライズにおける電源固定費の負担増や前年豊水の反動はあったものの、期ずれ差損が差益に転じたことなどから、前年同期に比べ83億円の増益
- 親会社株主に帰属する中間純損益：1,663億円
経常損益の増加などから、前年同期に比べ194億円の増益

- ・ 売上高は、2024/2Qに続き、2年連続の減収
- ・ 経常損益は、2023/2Q以来、2年ぶりの増益
- ・ 2020/2Q以来、5年ぶりの減収増益

(億円,%)

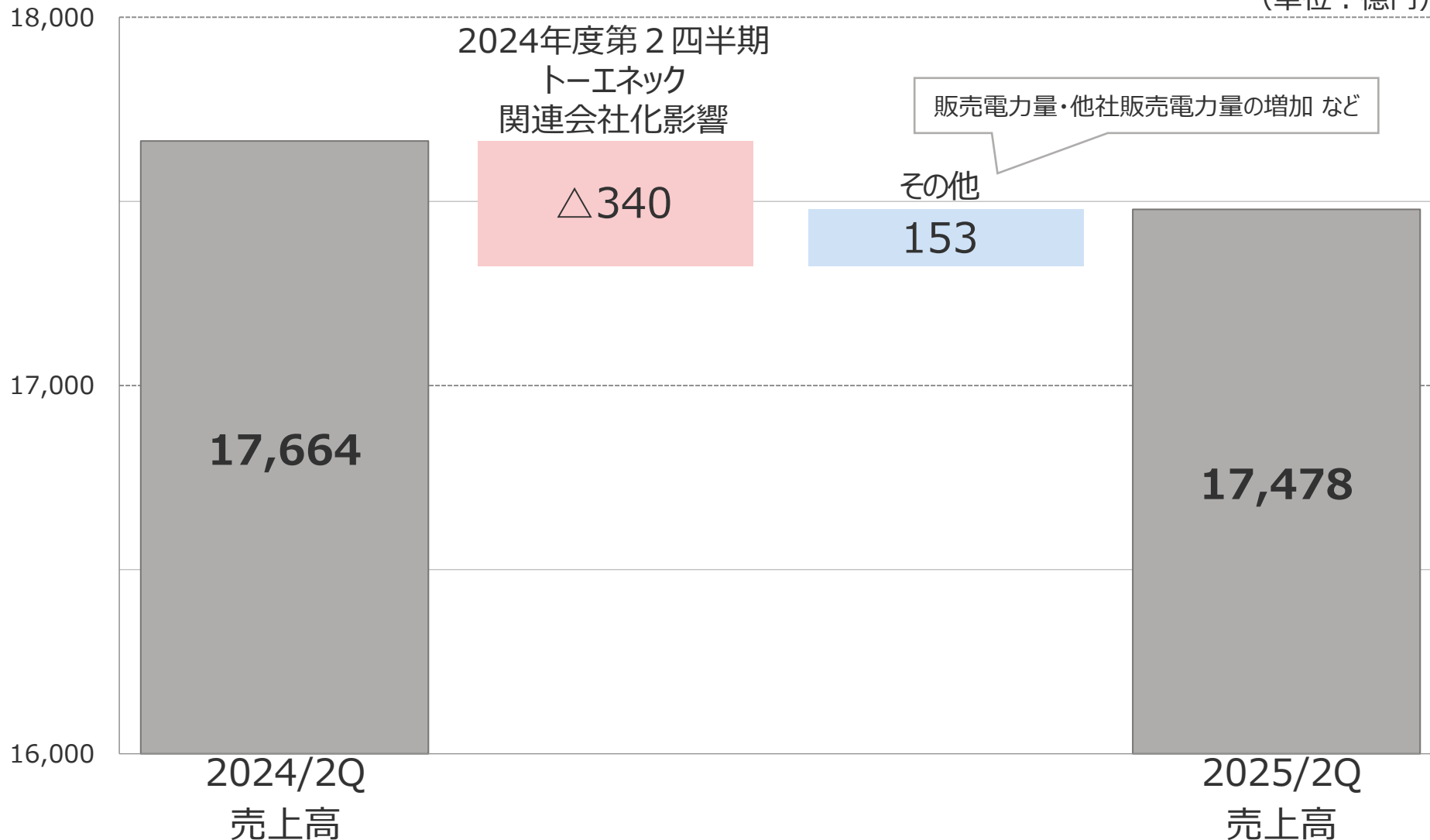
	2025/2Q (A)	2024/2Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	17,478	17,664	△186	△1.1
営業損益	1,455	1,427	27	2.0
経常損益	1,962 (1,632程度)	1,879 (1,889程度)	83 (△256程度)	4.5 (△13.6)
親会社株主に帰属する中間純損益	1,663	1,469	194	13.2

- (注) ・ 連結対象会社数 2025/2Q 連結子会社 76社【+7社】 持分法適用会社 92社【+10社】 【】内は前年同期差]
・ () 内は期ずれ除き経常損益
・ 期ずれ除き経常損益は前期まで10億円単位で表示しておりましたが、当期より前期値も含め1億円単位での表示へと見直しております。

決算概要②

〈連結売上高の変動要因〉（186億円の減収）

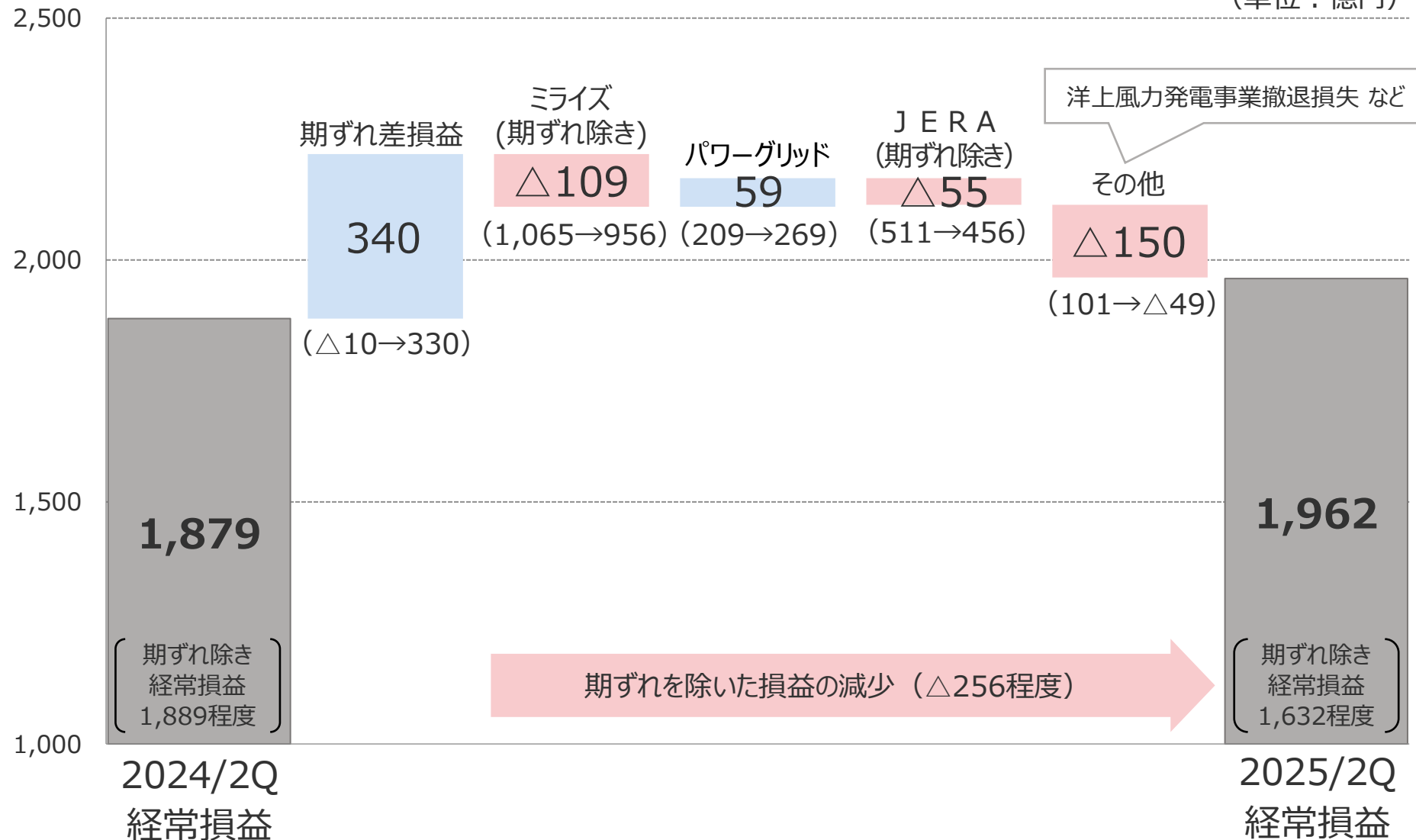
（単位：億円）



決算概要③

〈連結経常損益の変動要因〉(83億円の増益)

(単位：億円)



セグメント別決算概要①

(億円, %)

		2025/2Q (A)	2024/2Q (B)	増減	
				(A-B)	(A-B)/B
売上高	ミライズ	14,550	14,393	156	1.1
	パワーグリッド	4,608	4,580	28	0.6
	その他 (※1)	3,170	3,616	△446	△12.3
	調整額	△4,851	△4,925	74	△1.5
	合計	17,478	17,664	△186	△1.1
経常損益	ミライズ	956	975	△19	△2.0
	パワーグリッド	269	209	59	28.3
	J E R A (※2)	786	591	194	32.8
	その他 (※1)	1,053	439	613	139.5
	(再掲)不動産事業 (※3)	50			
	調整額	△1,102	△337	△764	226.2
	合計	1,962	1,879	83	4.5

(注) 各セグメントは内部取引消去前で記載しております。

※1 その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、当社の再生可能エネルギーカンパニー、事業創造部門、グローバル事業部門、不動産事業部門、原子力部門、管理間接部門、その他の関係会社等を含んでおります。

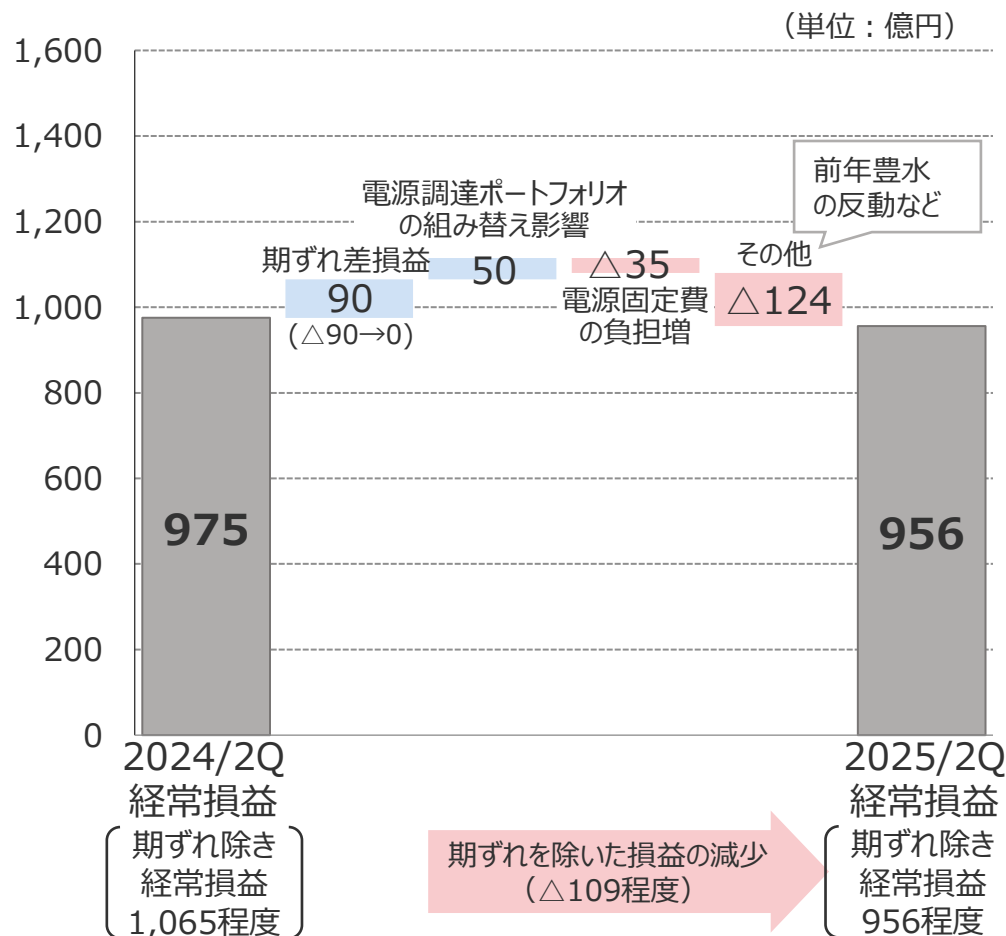
※2 J E R Aは、持分法適用会社のため、売上高は計上されません。

※3 2025年4月1日より不動産事業本部を設置しております。

セグメント別決算概要②：ミライズ

〈経常損益の変動要因〉

- 電源調達ポートフォリオの組み替えによる費用削減効果等の拡大はあったものの、電源固定費の負担増や前年豊水の反動などから、前年同期に比べ 19億円の減益
(参考) 期ずれを除いた経常損益：956億円程度（前年同期に比べ 109億円程度の減益）



(販売電力量)

	'25/2Q (A)	'24/2Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	142	145	△3	△1.9
高圧・特別高圧	407	392	15	3.9
合計	549	537	12	2.3

競争影響 +7程度、気温・景気等 +6程度

[参考]

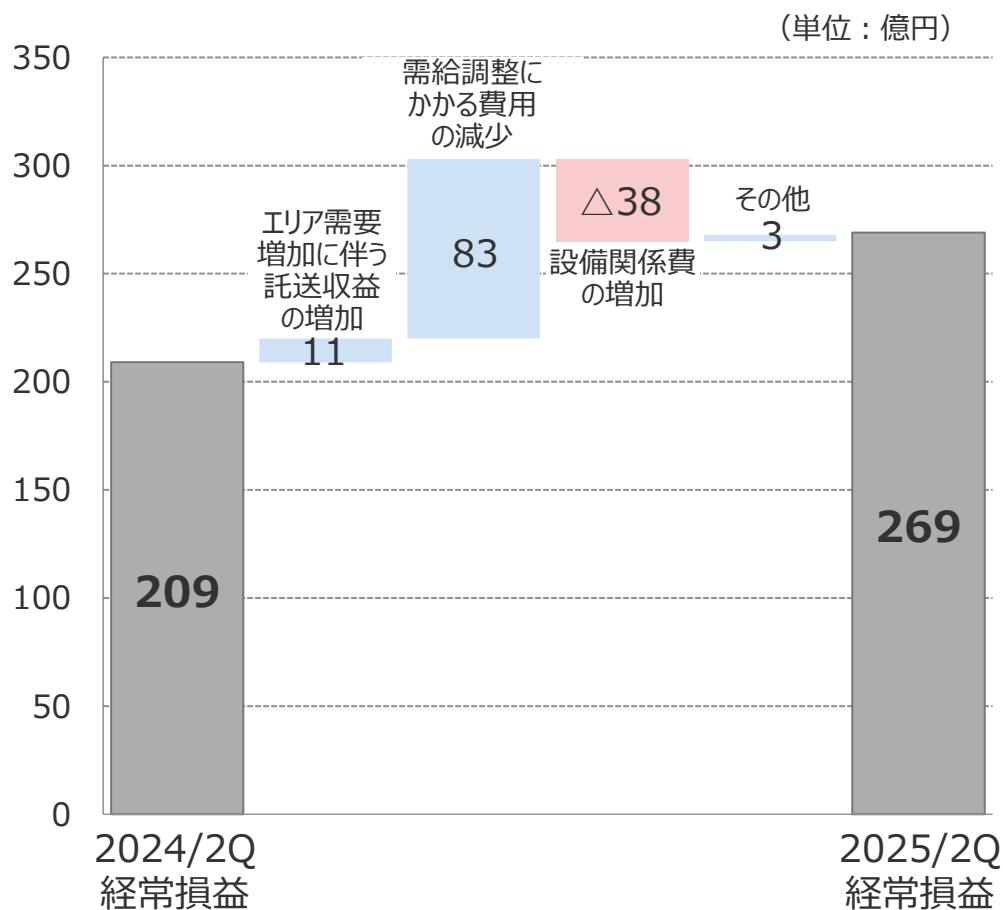
グループ合計の 販売電力量	605	583	21	3.7
他社販売電力量	100	94	6	6.1

- (注) ・ グループ合計の販売電力量は中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の実績を記載しております。
- ・ 他社販売電力量は中部電力ミライズの子会社および関連会社への販売電力量を除いて記載しております。
 - ・ 他社販売電力量は期末時点で把握している電力量を記載しております。
 - ・ 期ずれ除き経常損益は前期まで10億円単位で表示しておりましたが、当期より前期値も含め1億円単位での表示へと見直しております。

セグメント別決算概要③：パワーグリッド

〈経常損益の変動要因〉

- 設備関係費の増加はあったものの、エリア需要の増加に伴う託送収益の増加や需給調整にかかる費用の減少などから、前年同期に比べ 59億円の増益



(エリア需要)

(億kWh,%)

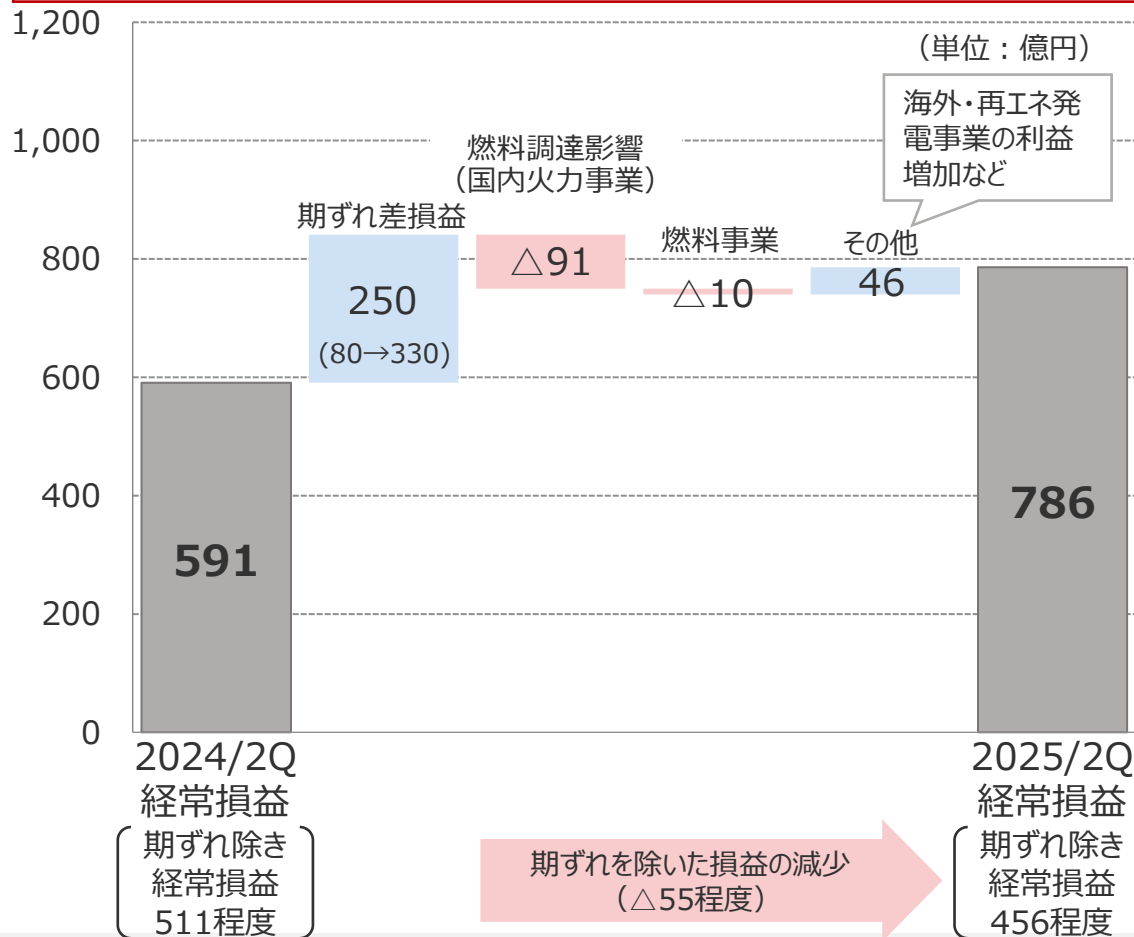
	'25/2Q (A)	'24/2Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
低圧	186	185	1	0.3
高圧・特高	435	432	3	0.6
合計	621	618	3	0.5

セグメント別決算概要④：J E R A

〈経常損益の変動要因〉

- 国内火力事業において燃料調達影響による利益減はあったものの、期ずれ差益が拡大したことなどにより、前年同期に比べ194億円の増益

(参考) 期ずれを除いた経常損益：456億円程度（前年同期に比べ 55億円程度の減益）



(CIF価格・為替レート)

	'25/2Q (A)	'24/2Q (B)	増減 (A-B)
原油CIF価格 (\$/b)	73.7	86.7	△13.0
為替レート (円/\$)	146.0	152.6	△6.6

(注) 2025/2Qの原油CIF価格は速報値

(参考：JERA連結決算値)

(億円)

	'25/2Q (A)	'24/2Q (B)	増減 (A-B)
連結純損益	1,562 (891程度)	1,389 (1,222程度)	173 (△331程度)

(注) ・ () 内は期ずれ除き連結純損益
・ 期ずれ除き経常損益および期ずれ除き連結純損益は前期まで10億円単位で表示しておりましたが、当期より前期値も含め1億円単位での表示へと見直しております。

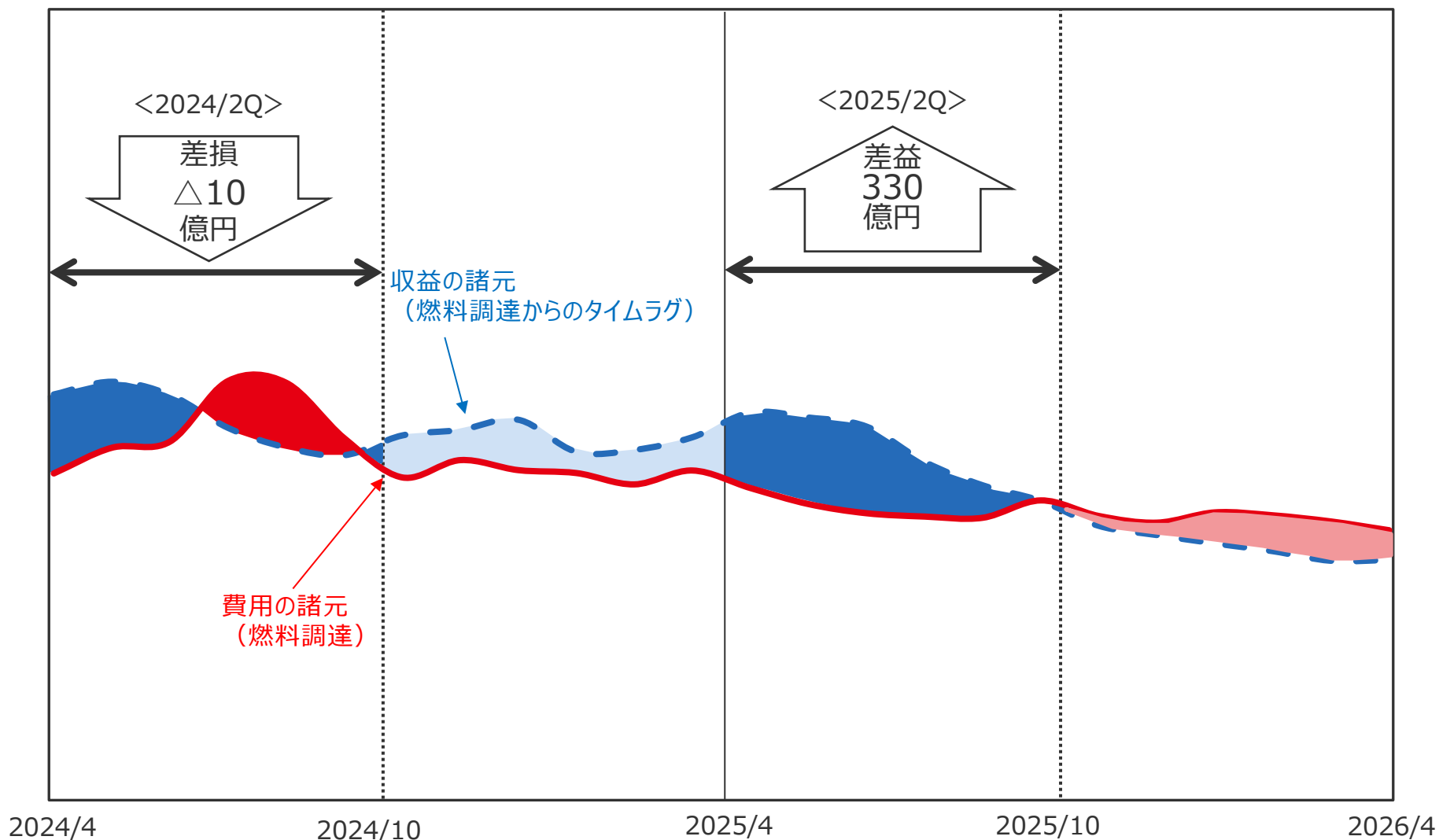
〈発電電力量〉（中部電力）

- **水力** 出水率が前年同期を下回ったことなどから、2億kWh減少
- **新エネルギー** 前年同期並み

(億kWh, %)

	2025/2Q (A)	2024/2Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
水力 (出水率)	58 (99.1)	60 (109.4)	$\Delta 2$ ($\Delta 10.3$)	$\Delta 3.2$
原子力 (設備利用率)	— (—)	— (—)	— (—)	—
新エネルギー	2	2	0	1.0
合計	60	62	$\Delta 2$	$\Delta 3.1$

(参考) 期ずれ影響のイメージ (実績)



(注) 金額はJERAおよびミライズにおいて発生した期ずれ差損益の合計を記載しております。

2025年度 業績見通しの概要①

〈業績見通し〉(連結) 2025年7月29日公表の業績予想値から変更なし

洋上風力発電事業撤退損失を計上したものの、夏季の高気温影響やミライズの電源調達ポートフォリオの組み替えによる費用削減効果等の拡大などから、前回公表と同程度となる見込み

なお、セグメント別業績見通し(経常損益)は、スライド番号16のとおり修正している

- ・ 売上高は、2023年度以来、2年ぶりの減収
- ・ 2021年度以来、4年ぶりの減収減益
- ・ 経常損益は、2024年度に続き、2年連続の減益

(億円,%)

	今回公表 (A)	7/29公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	35,500	35,500	—	—
経常損益	2,300 (2,100程度)	2,300 (2,100程度)	—	—
親会社株主に帰属する当期純損益	1,850	1,850	—	—

[参考] 前期比較

(億円,%)

	今回公表 (A)	2024年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
売上高	35,500	36,692	△1,190程度	△3.2
経常損益	2,300 (2,100程度)	2,764 (2,640程度)	△460程度 (△540程度)	△16.8 (△20.5)
親会社株主に帰属する当期純損益	1,850	2,020	△170程度	△8.5

() 内は期ずれ除き経常損益

2025年度 業績見通しの概要②

【主要諸元】

(中部電力ミライズの販売電力量)

競争影響 +3程度、気温・景気等 +22程度

(億kWh,%)

	今回公表 (A)	7/29公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,097	1,072	25	2.3
グループ合計の販売電力量	1,209	1,183	26	2.2

[参考] 前期比較

競争影響 +12程度、気温・景気等 +7程度

(億kWh,%)

	今回公表 (A)	2024年度実績 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
販売電力量	1,097	1,079	19	1.7
グループ合計の販売電力量	1,209	1,173	36	3.1

(注) グループ合計の販売電力量は、中部電力ミライズおよびその子会社、関連会社の値を記載しております。

(その他)

	今回公表	7/29公表	<参考> 2024年度実績
原油CIF価格 (\$/b)	72程度	72程度	82
為替レート (円/\$)	146程度	143程度	153
原子力利用率 (%)	—	—	—

(参考) 米国の関税政策による影響

〈米国の関税政策による電力需要への影響〉

- 2025年4～9月の中部エリアにおける産業用の電力需要は計画通り推移しており、現時点で大きな影響は生じていないものと考えております。
- 一方で、米国の関税政策により、今後、自動車等の輸出量の減少が懸念され、自動車関連の産業集積地である中部エリアの電力需要に一定の影響が生じる可能性があると考えております。
- 引き続き、米国の関税政策の動向を注視し、業績見通しに大幅な変化が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

〈その他の影響〉

- 原油CIF価格、為替レート、金利の変動による収支影響

			収支への影響額
原油CIF価格	(+ 1\$/b)	※1	△24億円程度
為替レート	(+ 1円/\$)	※1	△5億円程度
金利	(+ 1%)	※2	△20億円程度

※1 原油CIF価格や為替レートは、J E R Aにおける期ずれへの影響額

※2 金利は、当社の支払利息への影響額

〈株主還元に関する考え方〉

- 電力の安全・安定的な供給のための設備投資を継続的に進めつつ、成長分野への投資を推進することで、持続的な成長を目指し、企業価値の向上に努めてまいります。
- 株主還元については、重要な使命と認識し、安定的な配当の継続を基本としながら、利益の成長を踏まえた還元に努め、連結配当性向 30%以上を目指してまいります。

〈配当の状況〉

- 中間配当につきましては、本日開催の取締役会において 1株につき 35円 と決定いたしました。

	2025年度	2024年度
1株当たり 中間配当金	35円	30円
1株当たり 期末配当金	(35円)	30円
合 計	(70円)	60円

※1 期ずれ補正後の連結配当性向 2025年度：32%程度、2024年度：24.1%

※2 () 内は予想値

※3 前回予想（2025年7月29日公表）から変更してありません。

Ⅱ 参考データ：決算・財務関連

連結収支比較表

(億円,%)

	2025/2Q (A)	2024/2Q (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
営業収益（売上高）	17,478	17,664	△186	△1.1
持分法による投資利益	683	567	115	20.3
その他収益	51	85	△33	△39.6
営業外収益	734	653	81	12.5
経常収益	18,212	18,317	△104	△0.6
営業費用	16,022	16,237	△214	△1.3
営業外費用	227	201	25	12.8
経常費用	16,249	16,438	△188	△1.1
（営業損益）	(1,455)	(1,427)	(27)	(2.0)
経常損益	1,962	1,879	83	4.5
濁水準備金引当又は取崩し（△）	1	6	△4	△82.0
法人税等	295	390	△95	△24.5
非支配株主に帰属する中間純損益	2	12	△9	△76.8
親会社株主に帰属する中間純損益	1,663	1,469	194	13.2

連結財政状態の概要

(億円)

	2025/9末 (A)	2025/3末 (B)	増減 (A-B)
資産	74,140	71,248	2,892
負債	44,306	42,662	1,643
純資産	29,833	28,585	1,248

(億円)

	2025/9末 (A)	2025/3末 (B)	増減 (A-B)
自己資本比率(%)	39.3	39.1	0.2
有利子負債残高	32,730	30,778	※ 1,951

※有利子負債残高の増減の内訳は、次のとおりでございます。

- ・ 調達・返済による影響 1,841億円
- ・ 連結範囲の変更による影響 110億円

2025年度 セグメント別業績見通し

〈セグメント別業績見通し〉(経常損益) 2025年7月29日公表の業績予想値から修正

- ミライズは、夏季の高気温影響や、電源調達ポートフォリオの組み替えによる費用削減効果等の拡大などから、150億円程度の増益
- パワーグリッドは、夏季の高気温影響などから、150億円程度の増益
- その他・調整額は、洋上風力発電事業撤退損失を計上したことなどから、300億円程度の減益

(億円,%)

	今回公表 (A)	7/29公表 (B)	増減	
			(A-B)	(A-B)/B
ミライズ	1,100 (1,050程度)	950 (900程度)	150程度 (150程度)	15.8 (16.7)
パワーグリッド	250	100	150程度	150.0
J E R A	950 (800程度)	950 (800程度)	— (—)	— (—)
その他・調整額	0	300	△300程度	△100.0
(再掲) 不動産事業 ※	200	200	—	—
合計	2,300 (2,100程度)	2,300 (2,100程度)	— (—)	— (—)

※ 2025年4月1日より不動産事業本部を設置しております。

() 内は期ずれ除き経常損益

財務関連指標

(%)

	2024年度実績	2025年度予想	2025年度 中期経営計画公表
ROI C	3.8	3.3	3.2以上
ROA	4.1	3程度	—
ミライズ	17.6	14程度	—
パワーグリッド	2.5	2程度	—
J E R A	3.3	5程度	—
不動産事業 ※	—	5程度	—
ROE	7.0	6程度	7程度

※ 2025年4月1日より不動産事業本部を設置しております。

(注1) ROI C = 利払前・税引後経常損益 / 期首期末平均投下資本 (有利子負債残高 + 純資産)

ROA = 事業損益 (経常損益 + 支払利息) / 期首期末平均総資産

ROE = 当期純損益 / 期首期末平均自己資本

(注2) 経常損益および当期純損益は、期ずれ除きの数値

本資料取扱上のご注意

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる場合があります。